科学コミュニケーション研究会 第44回関西支部勉強会 2014年7月23日(水)

CiRAの広報活動

京都大学iPS細胞研究所(CiRA)

国際広報室 和田濵 裕之

自己紹介

- 神戸生まれの神戸育ち
- 高校では理系と文系の狭間に憧れる
- 京都大学農学研究科でダイズの研究(2004~2010年)
- 理研CDBの広報・国際化室でインターンシップ(2011年)
- * CiRA国際広報室へ(2012年~)

iPS細胞研究所 (CiRA)

Center for 1PS Cell Research and Application

- 2010年4月1日 設立
- 臺地上5階、地下1階
- 延床面積12,000平方メートル
- ⁵ 構成員数:約300人



CiRAの研究支援体制

□組織図(2014年3月1日現在) 山中伸弥 □初期化機構研究部門 所長 研究部門 □増殖分化機構研究部門 中畑龍俊 副所長 □臨床応用研究部門 戸口田淳也 □基盤技術研究部門 森澤眞輔 ---共通機器管理室 所長補佐 星野利彦 ---情報管理室 □上廣倫理研究部門 顧問 阿曽沼慎司 研究支援部門 口所長室 教授会 □研究支援室 □医療応用推進室 協議員会 □知財管理室 □国際広報室 事務部 □iPS細胞研究所担当

国際広報室の業務

- ●刊行物・webページ作製
- 講演依頼の受付

る イベントや展示企画

●寄附金募集

- **論** 論文成果発表
- 各種問い合わせ対応
- ●原稿チェック・執筆

広報担当

基金担当

広報の基本方針

市民(納税者や患者さん)に誠実な広報

- 正確・適切・透明性のある情報発信
- 研究所の活動の説明責任を果たす
- ■iPS細胞研究・科学技術への理解を深める

CiRAの一般向けイベント

CiRAカフェ

2011年~2014年で20回開催 30名/回

音楽演奏があることも



CiRAの一般向けイベント

シンポジウム

年1回開催

2013年度は大阪開催 400名程度参加



研究者向けイベント



国際シンポジウム

年1回開催

2013年度は武田科学振興財団と共催 500名程度参加

研究成果発表

タイミング

基本的には論文が掲載される時。学会発表でのリリースは稀

5 方法

webに掲載するのみ or 記者向けにレクチャー+web掲載

多発表可否の判断

主任研究員の意向が最優先。広報から提案することはある。

プレスリリースの作り方

研究者

当日発表スライドの作成 JSTへの報告 共同研究者との調整

国際広報室

リリース原案作成 JST広報との連携 大学広報との調整

京都大学記者クラブとの調整

問い合わせ対応

- ⁵患者さんからの問い合わせ
 - →iPS細胞の治療を受けるにはどうしたらよいか?
- 葛記者から質問
 - →記者レクの補足・iPS細胞関係の基礎的な質問
- ☞ 児童・生徒からの質問
 - →夏休みの課題や修学旅行での研修

CiRA広報の実態

研究成果を発表したい!



患者さんをはじめ過剰な反応は困る

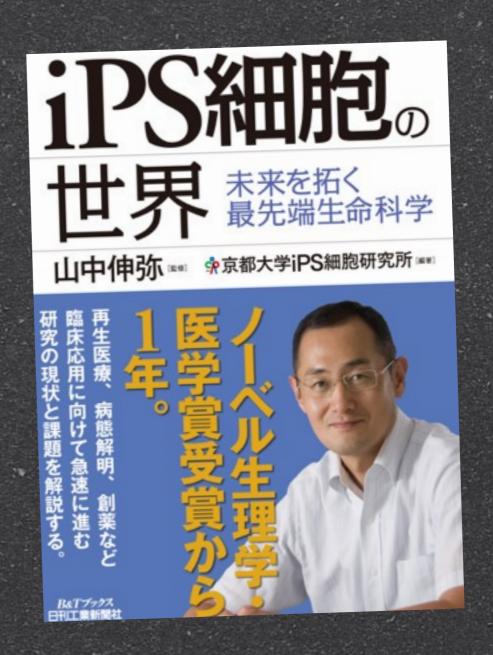
単に広まるのではなく正しく広まる必要性

研究者と記者の橋渡し

研究者
広報
記者
一般

CiRA編著「iPS細胞の世界」

- ノーベル賞受賞発表時の 研究所の様子
- ■iPS細胞研究の最前線
- [®] CiRAが目指すもの
- 印税はiPS細胞研究基金へ



と、いう感じで頑張ってます。

最近の話題といえば

- 1月末に発生したS細胞に関する事件
- 3月初めに会見をしたネズミ報道
- 5月初めに謝罪をした論文疑義

7月は何もないハズ...